

Collaborations World

～学校でも家庭でもできない体験を通してミュージカルをつくろう～

事前説明会

事業目的

山の都の魅力を活かし、立場を越えて協力することの大切さを学ぶことで、お互いを認め合う柔軟な心を育む。

事業概要

Collaboration Final これまでの経験を題材にしたミュージカルワークショップ

子ども達が、互いに助け合いながらその個性を活かしてミュージカルをすることで、協力により生まれる感動を実感する。

Collaboration 2 里山を「活かす」

帯那の里山の魅力を伝えることをテーマに職業を越えて協力している人たちと共に帯那を学び、協働により生まれるより良い学びの場を実感する。

Collaboration 3 自然を「育む」

自然に「触れる」「育む」の立場を共に活かすことで人と自然との共生が可能であることを実感する。

Collaboration 4 他者を「知る」

目が不自由な方とのグランドソフトボールを通して、他者の立場を知り、共に楽しみながら心の壁を乗り越えることが出来ることを実感する。

Collaboration 1 結団式

メンバー全員の顔合わせの場

集大成であるミュージカルワークショップショップに向け実体験の有無でミュージカルの演技に差がでることを学ぶ 3

募集人員・対象年齢・参加費用

募集人員：30名

**対象年齢：2020年度新小学校4年生～6年生
(9歳～12歳)**

参加費用：5000円

**昼食：参加費用に昼食代は含まれておりません。
各事業にはお弁当を持参いただく必要があります。**

応募者多数の場合は、男女構成、年齢構成などを考慮して、参加者を選定させていただきます。

事業日程

4月11日（土）	10:00～16:00	Collaboration 1 結団式	県民文化ホール
5月 9日（土） 5月10日（日） 予備日	10:00～16:00	Collaboration 2 里山を「活かす」	創作の杜おびな
7月25日（土） 8月 8日（土） 予備日	10:00～16:00	Collaboration 3 自然を「育む」	武田の杜
9月13日（日）	10:00～16:00	Collaboration 4 他者を「知る」	山梨県立盲学校 グラウンド
10月23日（金） 10月24日（土） 10月25日（日）	18:00～21:00 09:00～18:00 09:00～18:00	Collaboration Final ミュージカルワークショップ	県民文化ホール
10月31日（土）	10:00～12:30	解団式	甲府北公民館

C o l l a b o r a t i o n 1

～結団式～

指導者 : 中原和樹氏

実施内容 : 実体験の有無でミュージカルの演技に差がでることを学ぶ。

指導者：中原和樹氏



プロフィール

劇団もんもちプロジェクト主宰・演出。山梨県立県民文化ホールアーティスティックアドバイザー。

演出家、劇作家、舞台監督、アクティングコーチとしての顔を持ち、色々な角度と深度で舞台芸術に向き合いながら、音楽と芝居との融合、現代美術・舞踊・舞踏・他ジャンルとクロスオーバーするような舞台作品制作を目指している。

オリジナルミュージカルの作・演出など多岐に渡り、東京や福島、山梨県立県民文化ホール等で2018年には「ライオンキング」、2019年には「アラジン」のミュージカルワークショップを行い、プロの俳優だけでなく、市民参加型の活動に力をいれている。

実施タイムスケジュール案	
タイムスケジュール	概要
9:00-10:00(30min)	集合
10:00-10:05(5min)	理事長挨拶
10:05-10:10(5min)	趣旨説明
10:10-10:20(10min)	メンバー紹介
10:20-11:00(40min)	アイスブレイク
11:00-12:00(60min)	歌、ダンス体験
12:00-13:00(60min)	昼食、既存のミュージカルを一部抜粋した台本を渡す。
13:00-14:00(60min)	その台本についてディスカッション
14:00-15:30(90min)	実際に演じ、1つのシーンを創作する
15:30-16:00(30min)	フィードバック
16:00	終了・解散
	8

既存のミュージカル作品から、短いシーン（歌もある箇所）を抜粋し、それを実際に稽古して体験し、さらに、どこが難しかったかを子ども達がフィードバックすることで、演じるためには、想像力と実体験の両方が大切であることを学んでもらいます。

その上で、これから全3回の様々な体験をして、最後にその体験を活かしたミュージカルを行います。

今年行われたミュージカルワークショップ「アラジン」ダンス練習の様子



Collaboration 2

～里山を「活かす」～



「いろとりどり」

普段は全く別の仕事をしている人たちが集まり、帯那の魅力を伝えることをテーマに、職業が違えど、それぞれの得意分野を活かして協力している団体



「いろとりどり」の皆さん

左から、地域おこし協力隊 斉藤かりん氏
三角山工房 末木美那氏
かげろう珈琲 市川広幸氏

帯那のまちのフィールドワークについて

担当者：かげろう珈琲 市川広幸氏

実施内容：帯那の町を散策しながら自然（木、植物、昆虫、野鳥、その他）に触れることで、より深く「帯那のまち」を知ってもらう。

フィールドワークをより自主的に参加してもらえるように「ネイチャービンゴ」というゲームを行いながらの実施を想定。

所要時間：1時間30分

コース距離：約1,4km

コースについて：手を伸ばせば自然に触れることのできる舗装路がメインのルートです。車両や川、崖などの危険の少ないルートを選定しています。

チーム編成：6名×5チーム ※各チームに1名ずつ大人が帯同



ネイチャービンゴカード

～5月の里山を感じよう～

チーム名 _____ 名前 _____

木の实	おもしろい形	きれいな花	なが〜いもの
春らしいもの	ちくちくするもの	たまご	くさ〜いもの
きいろいもの	本日のスペシャル	小さな生きもの	なきごえ
生きものの落し物	ざらざらするもの	すきなにおい	ふさふさするもの

★見つけたものはみんなに教えてあげよう！

★草むらや危険な所に入らないようにしましょう！

たくさん見つけてビンゴをそろえよう！

テーマ：蓬（よもぎ）

【選定の理由】

- ・5月に帯那に多く自生している。
- ・実際に蓬の草木染をしたところ染めた色づきも美しく衣に「活きる」ため
- ・蓬は食はもちろん、薬（漢方薬）としての役割も果たし、食に「活きる」ため

【実施した際の写真】



ヨモギ（蓬、学名： *Artemisia indica* var. *maximowiczii*）は、キク科の多年草。別名モチグサ（餅草）、エモギ、サシモグサ、サセモグサ、サセモ、タレハグサ、モグサ、ヤキグサ、ヤイグサ。英語ではJapanese mugwortとも呼ばれるが英語のmugwortとは異なることがある。

山野に自生する、きく科の多年生植物。葉の裏に白く柔らかい毛が密生して、香気がある。若葉は草もちの材料。葉裏の毛は、もぐさの原料。



所要時間：1 時間 3 0 分

実施場所：創作の森おびな テントサイトA+ 欅の木の広場

担当者：三角山工房 末木美那氏

実施内容：帯那の自然から採った「よもぎ」を使った草木染体験をする。
三角山工房 末木美那氏の指示に従って、進行します。

染めるアイテム：無地のバンダナ（染めたバンダナを事業対象者のユニフォームにします。）

テントサイトA+ 欅の木の広場



「よもぎ」の草木染をした布



バンダナを染めた参考写真



染料や媒染液



実施場所：創作の森おびな テントサイトA+ 欒の木の広場

担当者：かげろう珈琲 市川広幸氏、地域おこし協力隊 斉藤かりん氏

実施内容：よもぎを使ったおやつを提供

よもぎ茶（帯那で採れたよもぎで作ったお茶）と、麦茶を準備

おやつを食べている時間を使って、「よもぎ」についての豆知識講座をします。

**「見て、採って、染めて、食べて、知って」
テーマの「よもぎ」を通して、帯那の里山を、
多角的に学んでもら。**



よもぎのおやつ「草餅」



よもぎ茶

Collaboration 3

～自然を「育む」～



講 師：村山力氏

実施内容：「甲武信ユネスコエコパークで人と自然との共生について考える」をテーマに、
自然に「触れる」立場と自然を「育む」立場を共に活かすことの大切さの講演

所要時間：1時間

森林ウォーク

担当者 : インストラクター、青少年育成委員会

実施内容 : 森林ウォーク（自然に「触れる」体験）

武田の杜サービスセンターからスタートし森林学習展示館に立ち寄り林業の学習、その後⑥片山頂上に行き武田の杜サービスセンター戻る道のりをインストラクターの説明を受けながら森林ウォーク

実施時間 : 11時00分～12時30分（所要時間：90分）

コース : 夏の暑さを考慮して、比較的に日陰が多く、距離の短いコースを選択しています。

チーム編成: 15名×2チーム ※各チームにインストラクター1名、青少年育成委員会が帯同
5分づつ間隔を空けてスタートする。



武田の杜サービスセンター



森林学習展示館

森林・林業をより多くの方に知っていただくための施設です。中には山梨県の地形模型があり、県内で林業が盛んな場所がわかるようになっているほか、さまざまな木に直接触れて、木の違いを感じ取ることができます。スクリーンでは春夏秋冬の山梨の様子が映し出されてます。



山道

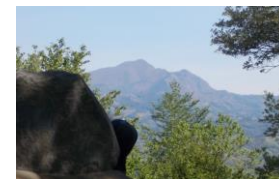


⑥片山頂上

ビューポイントがあり
美しい景色が広がります。



武田の杜サービスセンター



丸太切り体験・間伐材積み木体験

担当者： インストラクター、青少年育成委員会

実施内容： ●丸太切り体験（自然を「育む」体験）

代表者 2 ～ 3 名がインストラクターの補助のもとチェーンソーを使って丸太切り体験をする。

その後、全員がノコギリを使って丸太切り体験を行う。

●間伐材積み木を利用したチームビルディング体験（自然に「触れ協力する」体験）

3 名 × 5 チームに分かれ協力しながら、間伐材で作られた大量の積み木（積み木の形は 3 種類）を利用し、どのチームが一番高く積み上げることが出来るか競う。

所要時間： 60 分

チーム編成： 15 名 × 2 チーム ※各チームにインストラクター 1 名、青少年育成委員会が帯同

実施方法： 各チームが 60 分ずつで丸太切り体験と間伐材積み木体験を交互に行う。積み木体験では、3 名 × 5 チームに分かれる。

間伐材積み木体験

丸太切り体験

約直径 10 cm の丸太をノコギリを使って切る体験



大量の積み木



積み木の形は 3 種類



上手く組み合わせると



高く積み上げることが出来る



Collaboration 4

～他者を「知る」～

実施内容：目が不自由な方と一緒にグラウンドソフトボールを通じて、共に楽しみながら自然と心の壁を乗り越えることを実感する。

グラウンドソフトボールとはどのような競技か？

視覚に障害のある人たちにとっては、一般の野球やソフトボールを行うことは大変難しいので、用具やルールを変更して野球を楽しめます。

基本的なゲームの形態や流れは、ソフトボールに準じていますが、視覚障害に配慮したルールがいくつかあります。

①人数：1チーム10人で行いますが、4名以上は全盲選手がプレーしなければいけません。ピッチャーは必ず全盲選手が行います。

②用具：球は全日本グラウンドソフトボール連盟公認球を使用します。キックベースのボールを少し小さくしたサイズです（外周58～60センチ）特別に音が鳴るような球ではなく、球が地面を転がる音を手掛かりに全盲選手はプレイします。バットは、硬式用のものを使用し、野球のようなグローブは使用しません。

③投球：ピッチャーの投球は、地面を転がすようにして投げます。球種はストレートのほか、カーブやシュートもあります。

④走塁：ベースは野球のベース以外に、走塁専用のベースを設け、ランナーはそこを走ります。本来の野球のベースは、守備専用のベースとなります。

【野球との大きな相違点】

①全盲守備者が、フライ、ゴロどちらにおいてもボールを捕球した場合は、アウトになります。この時に、他の守備者やベンチからの打球の方向の指示は禁止されており、全盲守備者はボールの転がる音だけで判断し、捕球します。

②1塁から本塁までの各4つの走塁ベースには、それぞれランナーコーチャーを置きます。全盲の打者及び走者は、コーチャーの手ばたき、もしくは声の誘導で走ります。

グラウンドソフトボールの様子

全盲とは思えないスピードとコントロールでのピッチングです。



ボールの転がる音だけでボールを打ちます。



全盲の方もランナーコーチャーの手ばたきや声を頼りにベースに全力でスライディングします。



目が不自由な方と共にグラウンドソフトボールをプレーする中で、目が不自由な方が必要としているサポートさえあれば、他は何も健常者と変わらないことを実感することができます。

目が不自由な方と青少年の自己紹介

実施内容：目が不自由な方と青少年が自己紹介をする。目が不自由な方には、全盲、弱視等目の状態や得手不得手をお話いただき、青少年も自分の得手不得手を話し、お互いに自己開示ができるような時間にする。

所要時間：30分

ブラインドウォーク

目的：目が不自由な方の模擬体験を通して、相手の必要としているものを知り、それをサポートする大切さを学ぶ。

実施内容：2人一組となり、まず一人が目隠しをし、目を開けている方が声だけで先導しゴールを目指す。次に目を開けている方の肩に手を掛けて先導してもらいゴールを目指す。その後、2人が立場を変えて同じことを繰り返す。

所要時間：60分

一緒に昼食

実施内容：一緒に昼食を食べて、心の距離を縮める。

所要時間：60分

実施内容：一緒にウォーミングアップを行い、目が不自由な方のウォーミングアップの方法を知り、サポート仕方を学ぶ。

実施時間：10時45分～11時15分（所要時間：30分）

一緒にグラウンドソフトボールの練習

実施内容：一緒にグラウンドソフトボールの練習を行い、必要なサポートさえあればあとは何も変わらないことを知る。

実施時間：11時15分～12時45分（所要時間：90分）

一緒に試合形式

全盲とは思えないスピードとコントロールでのピッチングです。



ボールの転がる音だけでボールを打ちます。



全盲の方もランナーコーチャーの手ばたきや声を頼りにベースに全力でスライディングします。



目が不自由な方と共にグラウンドソフトボールをプレーする中で、気づいた時には自然と心の壁を乗り越えていることを実感する。

Collaboration Final

～ミュージカルワークショップ～

指導者： 中原和樹氏

実施内容：練習から本番までを3日間で行うミュージカルワークショップを実施する。

実施日時：1日目 2020年10月23日（金）18：00～21：00

2日目 2020年10月24日（土）09：00～18：00

3日目 2020年10月25日（日）09：00～18：00

指導者：中原和樹氏



プロフィール

劇団もんもちプロジェクト主宰・演出。山梨県立県民文化ホールアーティスティックアドバイザー。

演出家、劇作家、舞台監督、アクティングコーチとしての顔を持ち、色々な角度と深度で舞台芸術に向き合いながら、音楽と芝居との融合、現代美術・舞踊・舞踏・他ジャンルとクロスオーバーするような舞台作品制作を目指している。

オリジナルミュージカルの作・演出など多岐に渡り、東京や福島、山梨県立県民文化ホール等で2018年には「ライオンキング」、2019年には「アラジン」のミュージカルワークショップを行い、プロの俳優だけでなく、市民参加型の活動に力をいれている。

18:00	スタート・アイスブレイク
19:00	台本の説明、内容確認
19:30	シーンや音楽に触れる。
20:45	翌日連絡
21:00	稽古終了

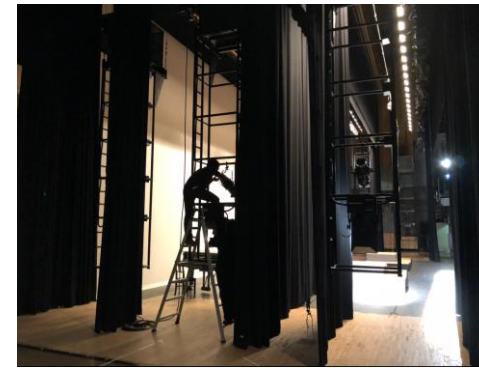
アイスブレイク



舞台



舞台設営



スタート



小道具



今年行われたミュージカルワークショップ「アラジン」の様子

09:00	ウォーミングアップ・台本稽古
09:30	振付をやる
10:15	配役、役割分担決め（裏方も含む）
11:00	台本稽古
12:30	昼食
13:30	台本稽古
17:45	翌日連絡
18:00	稽古終了

ワークショップ2
日目に配役を発表
します。子供たち
のこれまでの様子、
他の人との組み合
わせなどバランス
含めて検討します

今年行われたミュージカルワークショッ
プ「アラジン」ダンス練習の様子



09:00	ウォーミングアップ・台本稽古
09:30	前日の復習
10:00	台本稽古
12:30	昼食
13:30	最終通し稽古
14:30	最終通し稽古のコメント、修正、稽古
15:30	準備
16:00	発表会
17:00	フィードバック
18:00	子ども達解散

発表会には、子供たちのご家族、会員の皆様で見ていただきたいと思います。人前に立つ楽しさ・緊張・ワクワクまで含めて体験してもらいます。

昨年行われたミュージカルワークショップ「ライオンキング」の稽古の様子



応募について

【FAXでの応募】

募集チラシの裏面の申込書に必要な事項を記載しFAXでの申し込み。

【インターネットでの応募】

甲府青年会議所公式WEBサイト
<https://2020.kofujc.com/>
からの申し込み。

質疑応答

Collaboration 1

結団式

日時：2020年4月11日（土）
10：00～16：00
（09：30～受付開始）

場所：県民文化ホール

